

協力 74



伝道団体連絡協議会

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室
Tel. 03-3291-5035
www.dendankyo.com

FRONT ESSAY

成長している教会は…あります。

昨年12月、2011年の年次集計が終わりました。今回は教団別の10年間の礼拝出席の変化を調べました。力強く成長している教団、教会があることが明らかになりました。

2001年から2010年までの礼拝出席数の1教会平均を教団ごとに調べ、較べました。表とグラフをご覧ください。B、C、G、Hの4つ教団、教会は2001年より2010年の数値が高くなっています。成長している教団、教会です。そのほかの教団はE、Fのように変わらないもの、またはA、D、Iのように減少しているものに分かれます。

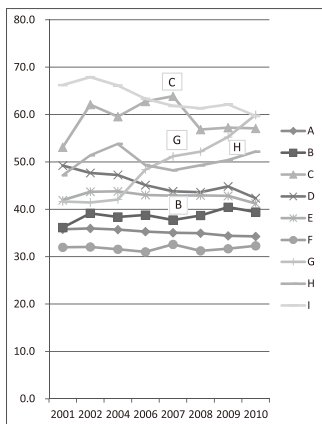
しかし、B、C、G、Hは違います。B、C、Hは増減はありますが、2001年よりも2010年の方が多くなっています。そして、Gに注目してください。2001年の41.6人が2010年には59.9人18.3人の増加です。

G教団は礼拝出席の着実な増加を示しています。このようなグラフを示す教団教会グループは他に1つありません。

このG教団の成長の事実を裏付けるために、昨年の受洗者数を調べました。受洗者が1年間に10人以上あった教会は全国で93教会ありました。この93教会を教団別に調べると、93教会の内訳は一番多い教団がG教団で、12教会、第二位は8教会、第三位は5教会でした。

このG教団からは、受洗者が多くあり、礼拝出席者が着実に増加して、成長している教会、とても元気な教会であるという印象を受けました。このG教団の教会全部が同じ成長パターンを示しているということではありません。しかし、多くの受洗者が与えられて、礼拝出席者数が、着実に伸びて、成長している教会がいくつもあるということが明らかです。このG教団とは日本アツセンブリース・オブ・ゴッド教団、成長しているグループ、Bは日本長老教会、Cは沖縄バプテスト連盟、Hは日本福音教会です。

このような教会が与えられていることを神様に感謝したいと思います。



暦年、教団別1教会当たり礼拝出席数

年	2001	2002	2004	2006	2007	2008	2009	2010
A	35.8	36.0	35.7	35.3	35.0	34.9	34.4	34.3
B	36.1	39.2	38.4	38.8	37.7	38.7	40.4	39.4
C	53.1	62.1	59.6	62.8	63.9	56.8	57.2	57.1
D	49.2	47.7	47.3	45.1	43.8	43.6	44.8	42.3
E	41.9	43.7	43.8	43.0	42.9	42.9	42.8	41.2
F	32.0	32.1	31.6	31.0	32.6	31.2	31.7	32.3
G	41.6	41.4	42.0	48.4	51.2	52.2	55.3	59.9
H	47.2	51.4	53.8	49.3	48.2	49.3	50.4	52.2
I	66.2	67.9	66.1	63.3	61.8	61.3	62.1	59.7

教会インフォメーション
サービス
代表
花蘭征夫

<お詫び> 2001年から2010年のデータが10でなくて8しかありません。集計のミスがあり、2003年と2005年のデータが省かれているためです。お詫びいたします。



2012年伝団協フェスティバル

開催のご案内



主の御名を賛美申し上げます。

加盟各団体におきましては、神の御国の働きに邁進されていますことと存じます。平素より伝道団体連絡協議会の交わりにおいてご指導を賜り感謝申し上げます。

21世紀を象徴するかのような9:11米国同時多発テロより10年が経ち、国難ともいえる3:11東日本大震災より1年が過ぎようとしている今日、国内外における宣教の危急性を痛感しております。

このような時代の必要に、さらに加盟団体がキリストの体なる教会によりよくお仕えるためにも、諸教会へのアピールの機会と考え表記のフェスティバルを計画しております。つきましては、加盟諸団体の皆様の参加をお願いいたすご案内いたします。

- 日 時：2012年 **6月16日(土)** 午前11時～午後5時
- 場 所：OCC 8F チャペルと入口ホール
- 参加費用：加盟団体無料、未加盟団体3,000円
 ブース用テーブル1本3,000円

プログラム予定

- ① 加盟団体紹介・物品販売ブース設営
チャペルや入口ホールに希望加盟団体ごとのブースを設営し活動紹介等をおこなう。
- ② チャペルでパフォーマンス
例. 60分区切りで活動報告やコンサート、講演、ワークショップなどを開催する。
- ③ 午前の部は、親子連れで楽しめる内容を、午後の部は青年、一般の方々が充実できる内容をおこなう。

つきましては、申込用紙にご記入の上、ご参加の可否を3月31日(土)までに下記番号にFAXをお願いいたします。追って開催準備等の詳細をお送りいたします。

FAX 03-3518-0782 (日本国際飢餓対策機構 東京事務所・福地宛)

2012年2月恵日

伝団協フェスティバル実行委員 田村治郎

伝道団体連絡協議会 新年会レポート

日時：2012年1月12日(木) 15:00～17:00
場所：OCC 415号室
ゲスト：熊田康之師(亶理聖書キリスト教会)

出席団体：総動員伝道、ブレイズ出版、日本国際飢餓対策機構、
新生宣教団、C.L.C BOOKS、ワンウェイ・ストリート、ワールド・
ビジョン・ジャパン、日本聖書協会 8団体 計12名

●開会礼拝 開会祈祷：岡本総務 奨励：姫井会長

ヨシュア記3章1～15節「明日、主が、あなたがたのうちで不思議を行う」。

契約の箱を担ぐ祭司が進んだなら、それに従ってイスラエルの民が進むとき、ヨルダン川を渡る奇跡が起きた。東日本大震災の厳しい試練を経験し、近いうちに大きな東海地震が起きる確率も高いと言われる中で、主が私たちの先頭に立って道を示してください。私たちは主の導きに従って進んで行こう。

●情報交換

参加者による自己紹介を行った後、ゲストの亶理聖書キリスト教会熊田康之牧師より、東日本大震災を通して受けた恵みについて講演をしていただいた。震災後、熊田牧師は亶理町の地域でボランティアリーダーとして支援活動を続けた。

また11月19日には亶理聖書キリスト教会の開所式が行われた。この建物は津波で1階まで浸水し、大きなダメージを受けた個人の住宅でした。この地域での住宅補修や地元漁師さんへの復興支援活動を拡大していく中で、この建物の改修も進め、所有者の希望もあって新たにキリスト教会と地域復興のボランティアセンターとして誕生することになった。12月25日には亶理町でボランティア活動をしていた、いくみさんの洗礼式が行われ、彼も今回の新年会に出席してくださった。

もう一人のゲスト、ワールド・ビジョン・ジャパンの高木氏より震災から9カ月のレポートをうかがった。子ども支援(スクールバスの運行、チャイルド・フレンドリー・スペース、防災対策支援、学校に太陽光パネル設置や井戸を掘る)仮設住宅の見守り支援、水産業などの雇用支援などを行った。柏崎に福島の方が大勢避難しておられ、11月23日には交流会支援を行い400名が参加された。

● 伝団協 加盟団体の紹介!



総動員伝道

<http://www.gospeljapan.com/sodo-in/>

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC614号
TEL:03-3291-5035 FAX:03-3291-5266

1970年四国総動員伝道を皮切りに日本全地域で総伝プログラムを実施しました。現在は以前のような地域全体、たとえば四国総動員伝道の時は四国4県で実施、ということは行われていません。

でも3つの目標は変わりません。①すべての人に福音を②すべてのクリスチャンをよい証人に③すべての教会が成長するように。

今年は秋田県の秋田市と大仙市、Walk with Jesusで彦根市から富山市まで260キロを歩き、家々にトラクト配布を行います。沿道の教会に立ち寄り共に祈り、宣教の重荷を分かち合います。一緒に歩き、トラクト配布をすることによって「証人」としての在り方を身につけます。



総伝は「イースターのつどい」のような超教派の伝道活動の要の役を果たしています。先日は断食祈祷聖会を3日間行いました。昨年の被災者・被災地のために祈るとともに日本宣教・世界宣教のために祈りました。

「エリヤのように」読書会を通して宣教のスピリットを高め、宣教方策を模索しています。

今年も大いに福音宣教に励みたいと思っています。





●アジアン アクセス

- 1.復興に、日本宣教に貢献出来る様に。
 - ・各地の教会ネットワーク、特に宮城宣教ネットワークの働きが祝され、多くの教会が生み出される様に。
 - ・各地の宣教師、特に被災地での働きが祝される様に。
- 2.指導者研修等の働きが、アジア全土に拡大し、各国での働きが祝される様に。

●いのちのことば社

クリスチャン・ジャーナリストのフィリップ・ヤンシー氏を迎えて、気仙沼(3/7)、仙台(3/8)、東京(3/9・11)で講演会を開きます。クリスチャン・ジャーナリストとして被災地で何を思い、感じたのか。多くの人が集会に集まれるようにお祈り下さい。

●高校生聖書伝道協会 (hi-b.a.)

新年度に向けて新たな代表スタッフの元、準備を進めています。高校生伝道の団体としてその通りに用いられ、働きを通してさらに高校生の救いと成長が見られるようにお祈りください。

●国際ナビゲーター

3月23日(金)から26日(月)に、全国スタッフが集うカンファランスを開催します。福音の前進のために、一丸となって取り組んでいくための良い機会となりますようどうかお祈りください。

●新生宣教団

HOPE for LIVING キャンペーンにより送り出された多くの伝道文書が、東北地区の教会で用いられますように。全世界で聖書を持つことの困難な地域にある兄弟姉妹のために、引き続き聖書、福音文書の印刷を進めてまいります。確実に手元に届けられるように。必要に応えることができるように。

●総動員伝道

- *財政と人事に転換期を迎えています。主の支えと人材の加入のために
- *4月「首都圏イースターのつどい」のため
- *6月 伝団協フェスティバルのため
- *8月 秋田市と大仙市でのトラクト配布伝道のため
- *9月 北陸街道歩いて伝道 Walk with Jesusのため
- *毎月の「いのちの泉会」と「エリヤのように読書会」のため

●クリスチャン文書伝道団 (CLC)

- ・4月より、いのちのことば社との業務提携が始まります。協力関係をより強いものとして築いていけるように。そして、何よりも、お客様に喜ばれる宣教業務が今まで以上にやっていけるように。
- ・業務提携により、2つの書店を統合します。その統合において、混乱なくすすめていくことが出来ますように。
- ・スタッフの健康と霊性が守られますように。世代交代の時期が迫っています。特に広島店の交代がスムーズに行われますように。

●ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

- (1) 聖書の講解メッセージが無料で聞ける「メッセージ・ステーション」の働きのために、お祈りください。
www.harvesttime.tv
- (2) 第3回「再臨待望聖会」を以下の予定で実施します。プレ大会は、沖縄(2月25日)、名古屋(3月3日)、札幌(3月10日)で、本大会は、大阪(3月17日)、東京(3月20日)で開催予定です。講師は、イスラエル聖書大学の学長、エレズ・ソレフ師です。各大会にぜひご参加ください。お祈りください。

●太平洋放送協会 (PBA)

ラジオ番組「世の光」、テレビ番組「ライブ・ライン」が各地で用いられ、教会につながる人が起こされますように。なお、PBAは2011年4月に一般財団法人に移行し、収益事業に力を入れる必要が生じてきました。その一環としてOCCビル6階事務所を賃貸に出します。良い借り主に借りていただくことが出来ますよう、お祈りください。

●日本聖書協会

「聖書と音楽の出会い」というテーマで賛美演奏とともに聖書のみことばに触れるイベントを東京(4月20日)、大阪(4月28日)、徳島(5月19日)で開催します。また、国際聖書フォーラム2012 聖書を識るというテーマで聖書翻訳に関するイベントをホテルニューオータニ(7月5日～6日)で開催します。聖書の新翻訳事業が祝されますように。

『協力』74号

発行日:2012年2月20日
発行所:伝道団体連絡協議会 郵便番号101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 614号室
TEL.03-3291-5035 FAX.03-3291-5266 www.dendankyo.com info@dendankyo.com
発行者:姫井雅夫
印刷:新生宣教団(500部)